

平成28年度

冬号

(通算第43号)

E-JAN通信

NPO法人 遠州精神保健福祉をすすめる市民の会

浜松市中区曳馬 2-8-19

Tel 053-461-6045

Fax 053-545-6059

<http://www.npo-e-jan.com>

info@npo-e-jan.com

平成28年12月16日発行

あしあと

来年度、E-JANは発会20周年を迎えます。これまでの道のりを振り返り、これから進むべき道を皆さんで考えていくため、E-JANの歴史を4回に渡り、このE-JAN通信でお伝えしていきます。



～E-JANの歴史① 1997（平成9）～2002（平成14）年まで～

副代表理事 佐々木 正和

1997（平成9）年12月、遠州精神保健福祉をすすめる市民の会（以下E-JAN）が任意団体として設立されました。当時、浜松市内には精神障がいのある方が使える福祉施設は「もくせい会授産所」しかなく、浜松は精神保健福祉の遅れた地域と言われていました。E-JANの準備段階では、設立を応援してくださる方もいれば、「そんな大きな会の運営なんて無理では？」とおっしゃる方も少なからずいらっしゃいました。今でこそ、多くの方の賛同をいただいているE-JANも、その当時は怪しげな団体が創設されたと理解される向きもあったようです。そんな逆風の中、当時、浜松医科大学の元学長でいらした中井準之助先生が初代会長を引き受けてくださることになり、風の流れは一気に変わりました。医療関係の方も含め多くの方が個人会員、団体会員になってくださいました。

1999年は「メンバーの集い」「E-JAN ころのフォーラム」「世田谷作業所見学ツアー」等さまざまなイベントを実施しました。2000年には映画「おかえり」の上映会、埼玉のやどかりの里と合同の当事者による体験発表会などが開催されました。2001年には精神保健福祉フォーラム「みんな一緒に」、啓発ビデオ「くらし」の作成などが行われました。2002年にはその「くらし」のビデオを上映したフォーラム「私たちからのメッセージ 一朝日新聞記者と語る」が開催されました。どのイベントにも多くの方が参加して下さり、精神保健福祉への関心が高まっていることを肌で感じました。

E-JANの毎月の定例会では、イベントの企画運営等が話し合われました。それ以外にも「あのアパート空いたよ」とか、「あの物件でグループホームや作業所ができるんじゃない」とか、「うちで今度、生活支援センターやるよ」とか、いろいろな福祉に関する情報交換もなされました。お互い別の法人職員でしたが、メンバーさんに関する有益な情報は、独占せずに情報共有が行われていました。また、「〇〇で施設立ち上げるなら、私たちだって」と競うように施設が創設され、一気に精神保健福祉関連の施設が増えました。2004年には全国的にみても精神保健福祉施設の設置数の多い地域になりました。新規施設創設の動きの中心にはE-JANの存在がありました。

2002（平成14）年、遠州精神保健福祉をすすめる市民の会は、社会的にも認められるようになってきました。そんな中、定例会等での話し合いの中でE-JANをNPO法人化していこうという機運が高まりました。しかし、そのためには、会の定款の作成、会計や会員名簿の整理等の作業が必要になりました。前代表理事の竹内公一先生が尽力して下さり、法人化への動きが加速していきました。また、ボランティアの方々が会計や会員管理、運営に至るまで、手弁当で運営をしてくださったおかげで、法人としての体裁が整ってきました。それまで専門職が仕事の傍らで管理をするので管理が不十分だったのですが、ボランティアの方々が丁寧に整理して下さり、今につながる事務局体制を構築してくださいました。そして、収入が覚束ない時に匿名で寄付いただいた方の支援があり、少しずつ経営が安定してきました。こういった皆様の努力が実り、2002年10月にNPO法人としての認可をいただくこと

ができました。任意団体としてスタートしたE-JANが社会的責任を果たす法人格へと転換することになったのです。（次回につづく）





障害者相談の窓口 ～ 改正発達障害者支援法 その2 ～



前回に引き続いて、「発達障害者支援法」の改正のポイント①～⑧の内の④～⑧をご紹介します。

④ 就労支援と雇用の機会の安定

就労支援では、発達障害者それぞれの特性に応じて適切な就労の機会を確保するとともに、定着のための支援に努めなければならないとされています。あわせて事業主は、働いている発達障害者の特性に応じた雇用管理を行うものとされました。

旧法では発達障害者への「差別」のみ規定されていましたが、改正法ではこれに加えて「虐待」「いじめ」「消費者被害」を防止するための施策を推進することと、成年後見制度が適切に広く利用されるようにすることが盛り込まれています。

⑤ 司法手続きでの意思疎通などの手段確保

刑事事件などの取り調べや裁判において、発達障害者が自らのもつ権利をきちんと行使できるよう、それぞれの特性に応じた意思の疎通を図り、必要な配慮を行うことが規定されています。

⑥ 発達障害者支援センターの増設

発達障害者やその家族などへの専門的な相談支援を行う機関として発達障害者支援センターがありますが、改正法では同センターを増やし、相談などのために遠くまで行かなくても済むようにしていくことが求められています。

⑦ 都道府県及び政令市に、関係機関による協議会を設置

必置の要件ではありませんが、発達障害者本人や家族、学識経験者、医療・福祉等の関係者などで構成される「発達障害者支援地域協議会」の設置が盛り込まれました。

⑧ 家族への支援

家族への支援としては、都道府県や市町村は、発達障害者の家族や関係者が適切な対応をとれるよう、相談や情報提供などを行うよう努めなければならないとされています。また、発達障害者の家族がお互いに支え合うための活動を支援していくよう努めなければならないとされています。



このように発達障害者支援法の施行から10年、今回の改正では時代に合わせて取り扱われる内容も幅広く改められました。まだ改正法で言及されていない課題として、「発達障害に関する専門家が少ないこと」、「障害者手帳のあり方についての検討」などがありますが、法の理念の実現に向けて、発達障害者ひとりひとりの特性に応じたきめ細やかな支援の中で、社会的障壁を取り除き、障がいの有無にかかわらず共に暮らせる社会をつくっていきましょう。(山田)

引用参考文献 「手をつなぐ 2016.7」ほか

※ 発達障害 …

脳機能の発達に関係する生まれつきの障害です。コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手で、またその行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障害によるものだとして理解すれば、周囲の人の接し方も変わってくるのではないのでしょうか。

最も一般的な発達障害には以下が挙げられます。

・広汎性発達障害(PDD) ・注意欠如・多動性障害(AD/HD) ・学習障害(LD)

政府広報オンラインより

ひきこもり地域支援センター啓発事業 行われる

11月28日(月)、浜松市ひきこもり地域支援センター 啓発事業として、講演会『ライフステージに応じたひきこもり支援』が行われました。

第1部では、まず、ひきこもりからの回復と自立に向けた『就労支援』として、E-JAN でやっている『地域若者サポートステーションはままつ』の加藤寛盛さんからお話がありました。仕事をしたいが自信がない…という人へ、コミュニケーショントレーニングやカウンセリング、職業体験等を組み合わせて仕事探しにつなげていることが紹介されました。

次に、子どもの将来を支えるための『民事信託』について、司法書士の中里功氏から講演がありました。近年、ひきこもりの高齢化・長期化が進み、親亡き後に子どもの生活が困窮することが予想されています。精神上的の障害(認知症・知的障害・精神障害)がある方は『成年後見制度』も利用できますが、民事信託はもっと自由度が高く、将来のお金の使い方を決めておくことで、今後の生活を守ることができる制度です。

第2部は、個別ブースで希望者への質疑応答(相談)が行われ、ひきこもり、就労、民事信託について、合わせて17件の相談がありました。

—参加者の感想—

- ・浜松市内には様々な就労サポートがある事を知った。
- ・その人のペースに合わせた支援を行うことが大切だと学んだ。
- ・民事信託を初めて知って参考になった。お金の管理の問題は、多くの人が抱え込んでいる問題でもあると思うので、こういう支援があることは大切だと感じた。
- ・残せる財産は少なく、かかる費用も検討しなければならないが、民事信託の制度は将来的には役に立つかもしれない。



107人の参加者が熱心に聴いていました。



認定 NPO 法人クリエイティブサポート・レッツ 主催「第28回 かたりの㊿」に参加して

11月12日(土)、クラブハウスにて、クリエイティブサポート・レッツとE-JANの職員や利用者さんによる「かたりの㊿」という対話の会が行われました。レッツは、主に知的障がい者の様々な表現活動を実現するための事業を行っている認定 NPO 法人です。今回のテーマは「遊び」です。参加者の感想をご紹介します。

誘われて初めて「かたりの㊿」に参加しました。

事前にレッツさんのホームページを拝見しましたが、“さて、どう語り合うのか?!” ときどきでした。

進行役の尾張さんから、テーマの「遊び」の言葉としての意味が語られ、参加者それぞれの考えを述べて頂くよう促されると・・・様々な視点(経験、環境、期待、年代等)から、気持ちが溢れてきました。進行役さんが、語られた気持ち・言葉を整理しつつ、さらに意を深めていく、さらに別の視点での気持ちを述べて頂くよう促すと、“かたり”が続いていきました。

私は、“聞く”に徹しました。“聞く”ことで、自身の考えと、語られる気持ちの違いや想いを見つめようとしていました。しかし、想いは様々で、はるかに私の想像の域を超えてしまいました。個性的であり、同じように語られる言葉も視点が異なると異質な意味になってしまう…。人がそれぞれであるように、想いも様々にあるのです、と。

長い時間でした。ですが、私にとっては面白い時間でした。次回も参加することを伝えました。次は自身の想いを語ればと思います。(山下)

交流会の報告

今年度の交流会は、8月21日(日)、10月2日(日)、11月27日(日)に、E-JAN クラブハウスで毎回13時から15時まで、フリートーク形式の茶話会を行いました。

当事者やご家族、市民ボランティアなどの様々な方々が参加し、和気あいあいとした会でした。好きな映画や旅行、料理、手芸などのカルチャーな話題から、福祉サービスや災害時の福祉避難所などの地域福祉に関することまで幅広いテーマが展開されました。

交流会で生まれたアイデア・意見は「お楽しみサロン」などの活動に反映され、想いを共有し、実践化する交流会になったと思います。ありがとうございました！(山本)

たけのこくらぶ報告

「たけのこくらぶ」は、E-JAN 会員の有志でつくっているボランティアグループです。

☆ お楽しみサロン (輪ゴム手芸) 9月3日(日) 13:30~16:00 クラブハウス

今回は、“色とりどりの輪ゴムやプラ板でアクセサリーやストラップを作りましょう！”というサロンでしたが、輪ゴムをやり出したら皆さん夢中で、プラ板には至らず、結局2時間半、全員輪ゴム手芸に没頭して終わりました。

参加者は7人でちょっと少な目でしたが、和気あいあいとおしゃべりしながら手を動かしていました。輪ゴム手芸のキットに入っている道具を使い、小さめの輪ゴムを積み重ねていってひも状にしたものを丸くつなげ、プレスレットやネックレスを作りました。また、かわいい花の形のストラップもできました。

作りながらおしゃべりにも花が咲き、「楽しみながら半分ミーティングもできた。」「初めての参加者も溶け込んでできてよかった。」と好評でした。(澤木)



できあがったプレスレット、指輪、ストラップ

☆ お楽しみサロン (料理) 11月27日(日) 10:00~12:00 クラブハウス

たけのこくらぶ部員の平野さんと金子さんを講師に、“簡単にできる料理”ということで、おでんとたこ焼きを作りました。12人の参加がありました。

おでんは、大根、卵、ちくわなどに加えてウインナーソーセージも入れ、出汁(だし)は白出汁、味付けはオイスターソースのみという意外なものでしたが、とてもおいしくできあがりしました。簡単なので、家でもやってみたいと思った人も多かったのではないかと思います。



ワザあり！ひっくり返す名人です。

また、持ち寄った2台の家庭用たこ焼き器を使い、定番のたこ焼きと、チョコレートやチーズ入りといった“たこ無し焼き(?)”も作りました。チョコレート入りなんてどんな味になるのか、楽しみでもあり不安でもありましたが、甘味とたこ焼きの生地のコラボレーションは面白く、けっこうおいしいと思いました。チーズ入りは生地とよくマッチしていて不自然さはありません。

たこ焼きをひっくり返すのはなかなか難しく、みんな苦心していましたが、いつも家でやっている人はさすがに上手で、みんなの称賛を浴びていました。

最後にそろっておいしくいただき、笑顔いっぱい、お腹もいっぱい、本当にいい1日になりました。(澤木)

☆勉強会(障がい者への差別について、福祉避難所について) 9月18日(日) クラブハウス

聖隷クリストファー大学社会福祉学科助教授、佐々木正和先生(E-JAN副代表理事)を講師に、今年度第1回目の勉強会を開催しました。

平成28年4月1日に障害者差別解消法が施行され、半年近くが経ちました。私たちもたけのこくらぶ部員として勉強し、今後の活動に活かせるようにお話を聞く機会を設けました。

佐々木先生の実体験に基づいたお話は大変説得力があり、障害のある人が一人ひとり表現することが難しくても、伝えたい思いをくみとり支援することが差別を無くすことであり、環境を整えていくことが大切だということ、また施設内で起こった問題点についても声をあげていく必要性を感じました。

福祉避難所は、避難所での生活が困難な高齢者や障害のある人を受け入れる二次的な避難所のことです。市と災害協定を結んでいる社会福祉施設等が該当します。災害直後は利用が出来なかったり、場所が明かされていないなどいろいろな問題点があることがわかりました。実際に過去に起きた大きな地震の際に障害の理解がないために困難な避難所生活を強いられた事例も紹介していただきました。E-JANとして何が出来るか今後の課題として考えていきたいと思いました。(高橋)



講義中の佐々木先生

部員の感想

- とてもわかりやすかった
- 個人的な体験を話してくださるとは思わなかった。
- いろいろな経験がおりなので説得力があった。
- 制度だけの説明ではなく、心の持ち方について話してくれて大変参考になった。

☆浜北ふれあい広場 11月13日(日) 9:30~14:00 グリーンアリーナ

例年のように浜北ふれあい広場が開催され、たけのこくらぶもバザーを出店しました。以下は部員の感想です。



昨年は大雨で、私の記憶の中では雨が多い印象でしたが、今年は素晴らしい晴天に恵まれ、屋外の巨大家康君も心なしかとても嬉しそうに両腕を広げて、皆を迎えてくれているように感じました。

毎年、各団体のメンバーが日頃の活動の成果を発表したり、動物とのふれあいやゲーム、スポーツ体験等、盛りだくさんの内容で、参加できた多くの人達はそれぞれに楽しい一日を過ごせたことと思います。

私の所属するたけのこくらぶも、例年通り日用品や手作り品、衣類等、たくさんのバザー品を並べ、スタッフたちの活躍のおかげで大盛況でした。商品を見に来てくださったお客様は「この服、私に似合う?」「息子にどうかしら?」「2つ買うから少し安くならない?」等、気軽に声をかけ、たくさん購入していただいて、大変嬉しく思いました。

交代でのお昼休憩ではチャリティーオークションを見学しながら、焼きそばやフランクフルト、他のスタッフからいただいたみかんを食べ、大満足の昼食でした。

他に、健康チェックのコーナーで骨密度を測定していただき、3年間の薬物治療と食事や運動(ウォーキング)のおかげで年齢相応の結果が出て一安心しました。

最後に、実行委員の方々のおかげでとても盛大なふれあい広場が開催され、感謝しております。

(川合)



ひきこもりサポートセンターこだま から



【社会体験活動 せいぶぽいんと】

こだまで交流スペース以外の活動として行っている社会体験から、今回は『せいぶぽいんと』を紹介します。

『せいぶぽいんと』は、浜松にあるネットリサイクルショップです。平成27年6月より、そこから仕事の一部を委託され、月2回、買い取りした本の仕分けとクリーニング作業などを行っています。交流スペースの隣の部屋で馴染みのメンバーさんと一緒に……。こんな表現をすると、ゆるゆるとやっているところを想像されるでしょうか？ でもこの活動、重い本をたくさん運んだりして、けっこう体力がいるんですよ。他の社会体験と違って外に出て行かない活動ではありますが、自分たちがクリーニングした本たちがどこかの誰かのもとに届いていることを想像すると、なんだかワクワクするのは私だけでしょうか。

以前、E-JANでも古本などを募集したところ、何件かのご寄付をいただくことができました。本当にありがとうございました。



地域若者サポートステーションはままつ（サポステはままつ）からのお知らせ

The screenshot shows the Hamazo blog interface. At the top, there's a header for 'サポステはままつ' with a tagline: '地域若者サポートステーションはままつです！お仕事について悩みのある方、まずは私たちに相談ください！'. Below this, there are sections for 'カテゴリ' (Categories), 'はまぞうおすすめ情報' (Recommended information from Hamazo), and '出展相談のお知らせ' (Notice of exhibition consultation). The consultation notice is dated '2016年10月07日' and includes details about the date and location: '日時: 11月22日(火) 13:00~17:00' and '場所: ワークピア磐田第1会議室'. There is also a map showing the location in Hamamatsu.

6月に開設しました Hamazo ブログ♪

サポステの事業に関わる案内や出張相談等のご報告はもちろん、季節ネタを取り入れるなど、気軽にサポステを知ってもらうツールとして情報発信しています。

検索方法は、

Hamazo「トップページ」→「カテゴリー一覧」→「ビジネス・社会」→「就職活動・リクルート」でご覧いただけます！

お近くで就職について困っている方がいましたら、サポステはままつをご紹介ください。

また、職場体験・職場見学をさせていただける企業や事業所も随時募集中です！！

サポステはままつ
TEL:053-453-8743





エッセイ

できることからコツコツと

E-JAN 理事 平川 悦子

浜松市でスクールソーシャルワーカーの施行が始まったのは平成 20 年 10 月。事業の正式スタートは平成 25 年度からですが、当初から関わっている私は、スクールソーシャルワーカーを名乗って丸 8 年。月日の経つのが速いことに改めて驚きます。「平川さん、浜松はどうですか？」研修会などでお会いする他の自治体の方に問われると私はこう答えます。・・「前向きに、転んでいます。」

課題難題山積で、とても順調ですなんて言えません。でも、決して悲観はしていません。多くの方に支えていただき、仲間と共に支え合い試行錯誤する毎日は、喜びと困難に満ちています。地域の小学校・中学校で子どもと保護者、先生方に出会えることは、喜び以上の何物でもありません。「相談してくださって有難うございます。」と心から思います。

一方、子どもの置かれた状況のしんどさに対して支援の資源が圧倒的に少ないことは本当につらいことです。障がい、という範疇に入らない・入れない子どもを地域で支える資源は皆無に等しい現状を何とかしたいと、ささやかな取り組みも始まっています。子ども食堂とか学習支援と言われるもので、子どもの居場所作りにようやくとともった灯を少しずつでも確実に広げていけるようにしていきたいと思います。

目指したいのは「地域で子どもを育てる」なんて、とても大きな目標で、それでも諦めずにちっぽけな自分でもできることをコツコツと・・そんな思いを支えてくれる言葉をご紹介します。

「大きな壁にぶつかったときに、大切なことはただ一つ。壁の前でちゃんとウロウロしていること。」玄田 有史
越えられない壁に直面したとき、うずくまっていないでその前でうろつくこと。すると壁の下に小さな穴が見つかり、トンネルが開くかもしれない。ヘリコプターが上空から見つけてくれるかもしれない。「希望は、無駄とか損とかいう計算の向こうに見つかったりするもの」だと、労働経済学者は言う。「希望の作り方」から(朝日新聞 折々の言葉 鷺田 清一)

※ 玄田 有史(げんだ ゆうじ、1964 年～)・・・経済学者、東京大学教授。専攻は労働経済学。



職員紹介

前回紹介できなかった新人職員をご紹介します！

- ①趣味・好きなこと ②冬で幸せを感じる時 ③最後に一言

サポステ事務員 田邊 朱美(たなべ あけみ)

- ① ただただ、ぼんやりすること。
- ② こたつに入ってアイスを食べているとき。
- ③ 不束者ですが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



サポステ・こだま職員 大畑 有沙(おおはた ありさ)

- ① 趣味は〇〇館に行くこと。科学館や水族館、博物館巡りが好きです。
- ② 冬はスノボの季節！雪山に行ける日は最高に幸せです！
- ③ フットワークの軽さは人一倍です(笑) よろしくお願いします。





1月	11日(水)	イエローシートキャンペーンの日	終日	イオン市野店他
	29日(日)	お楽しみサロン(ゲーム大会)	13:00～15:00	クラブハウス
2月	11日(土)	イエローシートキャンペーンの日	終日	イオン市野店他
3月	11日(土)	イエローシートキャンペーンの日	終日	イオン市野店 他

☆ 行事の詳細については事務局までお問い合わせください。

 **事務局より** 

年末年始休業のお知らせ

12月30日(金)から1月3日(火)まで、E-JANのすべての業務をお休みさせていただきます。今年1年、E-JANにご理解とご協力をありがとうございました。来年もよろしくお願ひいたします。

「らしく浜松」を同封します

このたび、浜松市版 保健福祉新聞「らしく浜松」Vol.6が発行されましたので、同封させていただきます。地域の福祉に関する情報・話題が掲載されています。ぜひお読みください。

書き損じハガキをご寄付ください

毎年、書き損じハガキのご寄付をありがとうございます。いつも新品のハガキと交換して、総会の出欠連絡兼委任状ハガキとして使わせていただいています。年賀状など、書き損じたり余ったりしたものがありませんら、是非ご寄付をお願いします。(ご寄付のお願いばかりで申し訳ありません。)



～編集後記～

- ・今年も残すところあとわずかとなりました。来るべき新しい年が皆様にとって佳き年となりますように。また来年もよろしくお願ひします。(山)
- ・あつと言う間に12月！年々、月日の経つのが速く感じるようになってきているのは私ばかりではないと思います。来年はどんな年になるのか？そんなことを考えている暇もない師走ですが、ま、元気ならいいとするか！(澤木)
- ・最近めっきり冬らしさを感じます。それは冬の強い向かい風！毎日自転車通勤している私にとって、この向かい風は毎朝出くわす強敵となっておりますが、その風のおかげでシェイプアップにつながると思えば、この季節も楽しめるなあ～と発想の転換を上手く活用していきたいと思います。(大畑)
- ・冬になり、体が動かなくて何をやるにも2倍くらい時間がかかっています。朝に素早く体を温める方法を知っていたら、是非教えてください。今年も1年ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。(杉浦)